

# 週間市場レポート (2020年6月1日~6月5日)

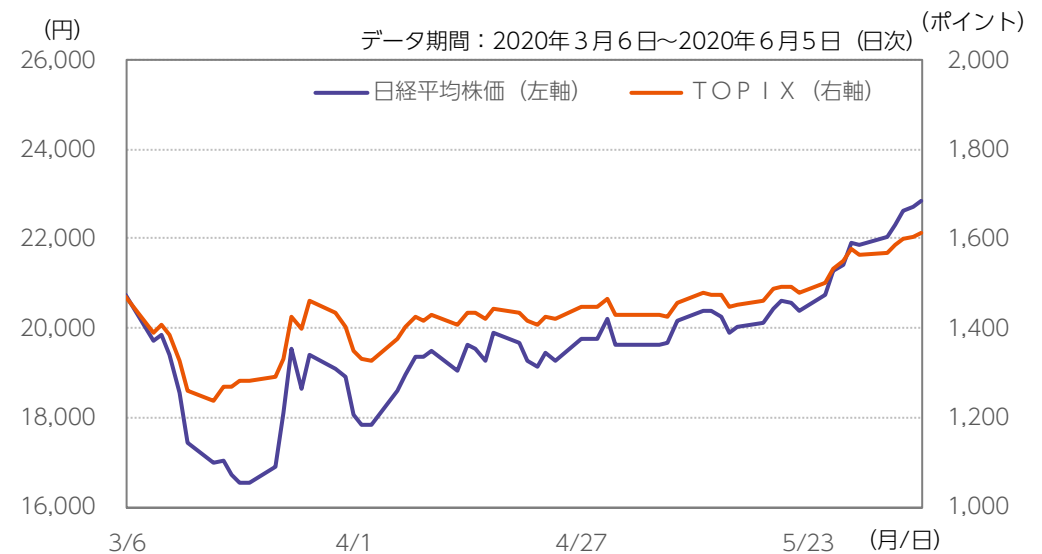
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/5/29	先週末 2020/6/5	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		21,877.89	22,863.73	4.51 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,563.67	1,612.48	3.12 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		25,383.11	27,110.98	6.81 ↗
S & P500種指数		3,044.31	3,193.93	4.91 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,050.20	3,384.29	10.95 ↗
S & P/ASX300指数		5,727.25	5,968.27	4.21 ↗
上海総合指数		2,852.35	2,930.80	2.75 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		752.96	803.20	6.67 ↗
東証REIT指数		1,701.03	1,719.57	1.09 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		651.58	709.94	8.96 ↗
ASX300 REIT 指数		1,236.00	1,292.00	4.53 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		152.78	169.03	10.63 ↗
日本10年国債 (%)		0.01	0.05	0.05 ↗
米国10年国債 (%)		0.65	0.90	0.24 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.45	▲ 0.28	0.17 ↗
英国10年国債 (%)		0.18	0.35	0.17 ↗
ドル/円		107.83	109.59	1.63 ↗
ユーロ/円		119.77	123.71	3.29 ↗
英ポンド/円		133.08	138.83	4.32 ↗
豪ドル/円		71.92	76.37	6.19 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,852.49	2,003.76	8.17 ↗
WTI原油先物 (ドル)		35.49	39.55	11.44 ↗
CRB 指数		132.24	138.98	5.09 ↗
アレリアンMLP指数		794.94	900.39	13.27 ↗

## 2) 日本の株式・債券市場

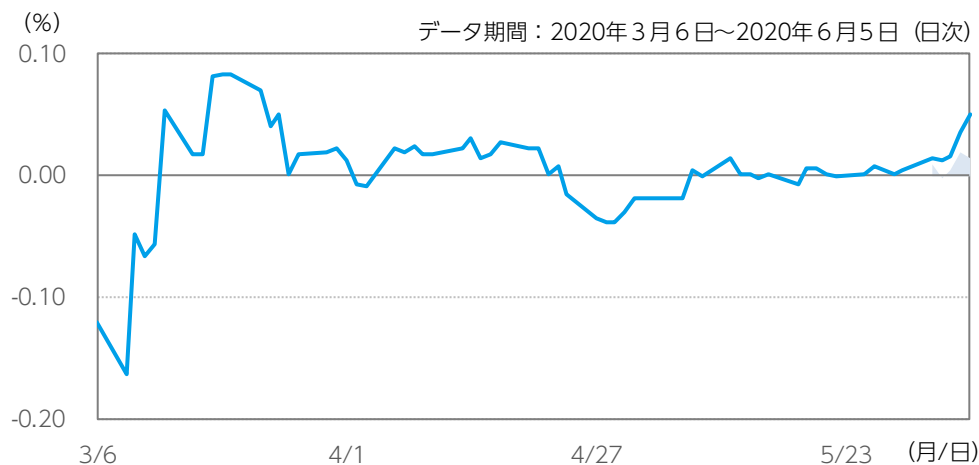
### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。国内の経済活動が再開に向かうとの期待が広がるなか、米国経済指標の改善により米国株式市場が上昇した流れを受け、4日（木）には一時、およそ3ヵ月半ぶりの高値を付けました。週末は過熱感から売りに押される場面もあったものの小幅に上昇し、5日続伸しての引けとなりました。



≪ 債券 ≫

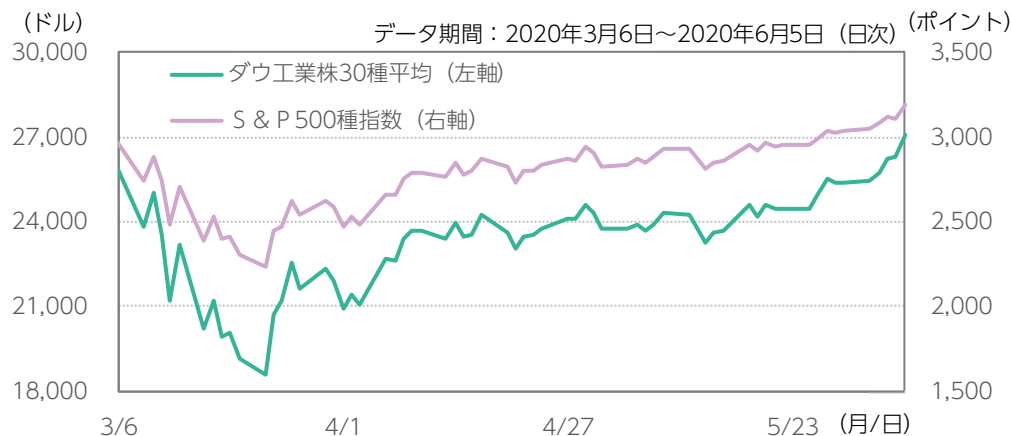
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。世界経済が回復に向かうとの期待感を受け、投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、相対的に安全とされる債券は売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

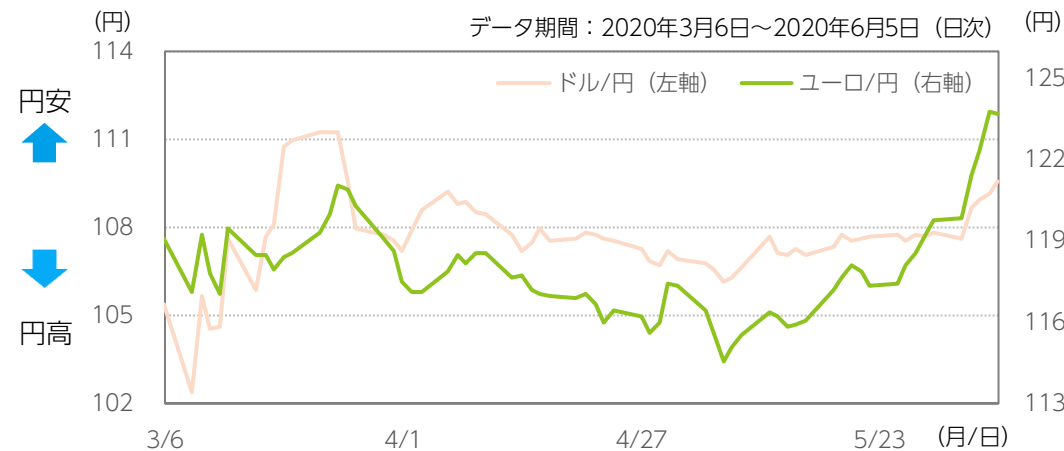
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。トランプ米大統領が米国経済の支援策の検討を始めたと報じられたことから、米国経済活動の本格再開への期待感が高まり、週を通じて上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。世界景気回復期待が高まり、投資家のリスク選好姿勢が強まったことから低リスク通貨とされる円を売る動きが優勢となりました。ユーロは、欧州中央銀行（ECB）による大規模な追加緩和策の公表を受けた景気回復期待から、大幅な円売りユーロ買いが進みました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、日米欧などの主要国の経済活動が本格的に再開するとの期待などから、日米両市場ともに前週末比で上昇となりました。

ECBが公表した大規模な金融緩和政策や市場予想を上回る米国経済指標などを背景に、欧米の早期景気回復期待が高まっています。また国内では、新型コロナウイルス感染拡大にともなう休業要請が段階的に解除され、経済活動が再開されつつあります。しかし、東京都の新規感染者数が8日連続で2桁となるなど、感染第2波や緊急事態宣言の再発動への警戒感も強まっています。

足元では、香港をめぐる米中関係の冷え込みや、人種問題をめぐる米国各州での抗議デモの激化が懸念材料となるものの、米国雇用指標の改善などから、同国の経済活動の本格再開への期待感が高まっています。また、ECBによる大規模な資金供給が継続される見込みであることも株式市場を下支えしそうです。主要国の経済活動の早期再開や、新型コロナウイルスのワクチン・治療薬の開発進展期待などを背景に、今週の株式市場は、日米両市場ともに引き続き上昇基調をたどるものと予想します。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>